

“生活すること”を“哲学する”会へのお誘い

「生活哲学」という言葉を聞いたことがありますか？

2016年に、文筆家の辰巳渚が中心になって「生活哲学学会」という団体が発足しました。
生活哲学って、何だと思いませんか？
哲学と、どう違うのでしょうか。

簡単に言えば、
生活哲学は、一人ひとり、自分の人生を生きている人が、日常の生活の実践から「問い」を得ることを大切に、その「問い」に対して考え、自分にとっての最適解を見いだして再び生活の実践に結びつけていく、その姿勢そのものを意味しています。

「生活」は、誰にとっても自分のことだと言えます。
けれども、学生にとっては、ちょっと遠いことかもしれません。
しかし、社会に出て働き、自分の家庭をもち、子どもを育てるなかで、つねに、あたりまえの日常と人間関係をいかに生きていくかが課題として立ち現れてくるでしょう。

まだ生活が少し遠く感じる学生のうちだからこそ、生活を哲学しよう！
そんな会のお誘いです。

テーマは、こんなことを考えています。

- * 学業・サークル等活動・バイトが学生生活の3本柱。では学生の考える「生活」とは？
- * ビジネスマナーって何？～社会で自分を活かすマナーはどこで身に着く？
- * 大学生のための保健体育～私たちは本当に身体のことを知っているのか？
- * 片づけられるようになりたい！ でも片づけができると、何が解決するのか？

◆キックオフミーティング◆

[主催](一社)生活哲学学会

[管理人]生活哲学学会・辰巳渚、お茶の水女子大学・高橋絢美

[相談役]お茶の水女子大学 半田智久

[日時]2018年5月24日(木) 18:30～20:30

[場所]お茶の水女子大学 半田研究室

[申込み] info@lifephilosophy.jp または生活哲学学会ホームページよりお問合せください